


# HIV（エイズ）・肝炎・梅毒検査 匿名・無料検査は保健所で

HIV 抗体検査、肝炎検査、梅毒検査は、兵庫県下の健康福祉事務所で「匿名・無料」で受けることができます。

※予約制（事前に必ず電話で申し込みをしてください）

## <加東健康福祉事務所 平成 30 年度 検査・相談日程>



4月	5日、19日	10月	4日、18日
5月	17日	11月	1日、15日
6月	7日、21日	12月	6日、20日
7月	5日、19日	1月	17日
8月	2日、16日	2月	7日、21日
9月	6日、20日	3月	7日

◆時 間：13:30～14:10 \*すべて木曜日

◆場 所：加東健康福祉事務所 加東市社1075-2（加東警察署西隣り）

◆予約・問い合わせ先：加東健康福祉事務所 健康管理課 TEL 0795-42-9436

### 【注意事項】

- ① 感染の有無がわからない期間(ウインドウ期)があります。  
HIV 検査は、感染を疑う機会から3ヶ月経過してからの検査をおすすめします。
- ② HIV 検査は、検査当日に結果がわかりますが、100人に1人の割合で確認検査が必要になる場合があります。その場合結果が後日になります。
- ③ 肝炎検査については、結果が2～3週間後になります。





# HIV/エイズのこと、知っていますか？



## HIV = エイズではありません

### HIVとは

Human(ヒト) Immunodeficiency(免疫不全) Virus(ウイルス) の頭文字をとって名付けられたウイルスの名称です。

### エイズ(AIDS)とは

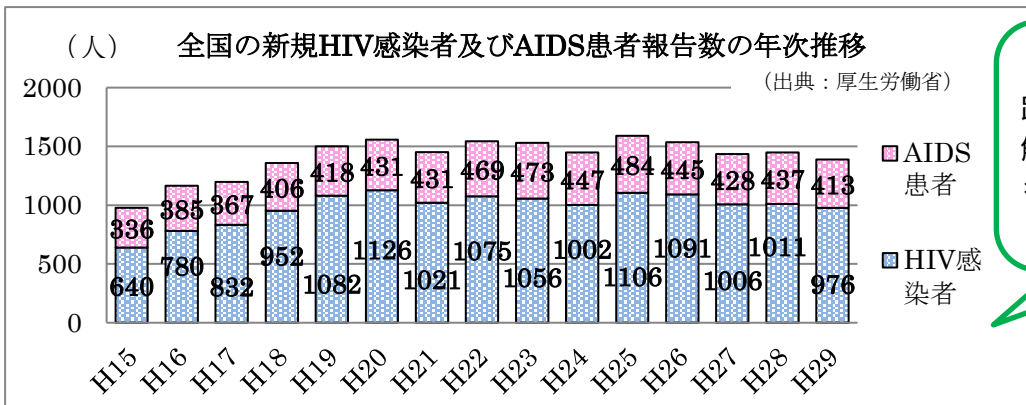
Acquired(後天性) Immune(免疫) Deficiency(不全) Syndrome(症候群) で、HIVに感染することによって起こる病気の名称です。

- ◆ HIVに感染しても、すぐにエイズを発症する訳ではありません。
- ◆ HIV感染により、体を病気から守っている免疫力を破壊し、健康な時には何でもなかった細菌やウイルス、カビなどに抵抗できなくなり、重い病気にかかりやすくなってしまいます。
- ◆ 感染した人の約3人に1人は、発症した後に医療機関を受診して初めて感染に気づく状況が続いています。



## 日本の状況は？

★ 自覚症状がなくても、他の人へ感染させるおそれがあります。



新規感染者の感染経路は、男性間の性的接触によるものが約7割を占めています。

## 感染源は？

HIVは血液・精液・膣分泌液に多く含まれており、8割以上が性的接触による感染です。

## 性感染症に感染していると、HIVに感染しやすくなります

エイズは性感染症の一つ

《エイズ以外の主な性感染症》

梅毒、性器クラミジア感染症、膣トリコモナス症、淋菌感染症、性器ヘルペス感染症、尖圭コンジローマ、B型肝炎

## 感染を予防しましょう！

一度の性的接触での感染も報告されており、感染の危険性は誰にでもあります。

予防には、コンドームが有効です。正しく使用しましょう。

HIV陽性とわかった場合でも、社会生活を変える必要はありません。

## 検査を受けましょう！

◆ 通常 HIVに感染しても10年くらいは無症状で気づかないことが多く、HIVに感染しているかどうかを知るための唯一の方法がHIV抗体検査を受けることです。

◆ HIV感染を早期に発見し、早期に治療を開始することで、エイズの発症を予防できます。



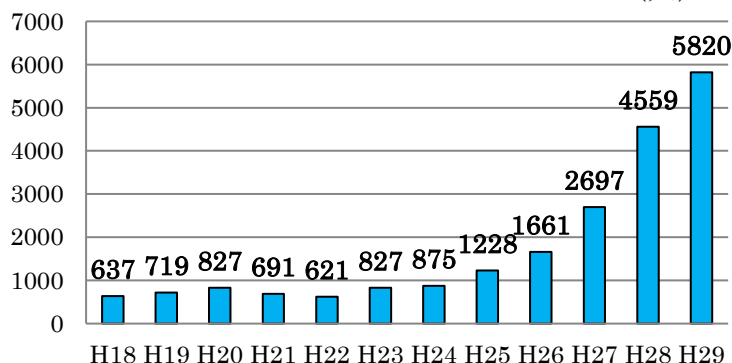
# 梅毒患者が増えています

全国の梅毒の報告数について、平成22年以降の増加が顕著であり、平成29年(暫定値)は平成22年の**9.3倍**となっています。

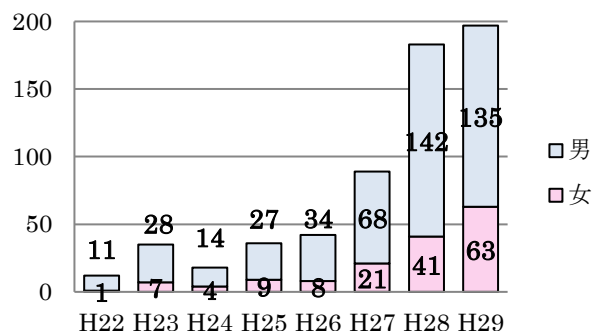
兵庫県においては、平成22年まで減少傾向にありましたが、平成23年に35人と急増、平成24年は18人に減少しましたが、以後著しい増加傾向にあります。

**平成29年は198人の報告があり、平成28年より15人増加しています。**

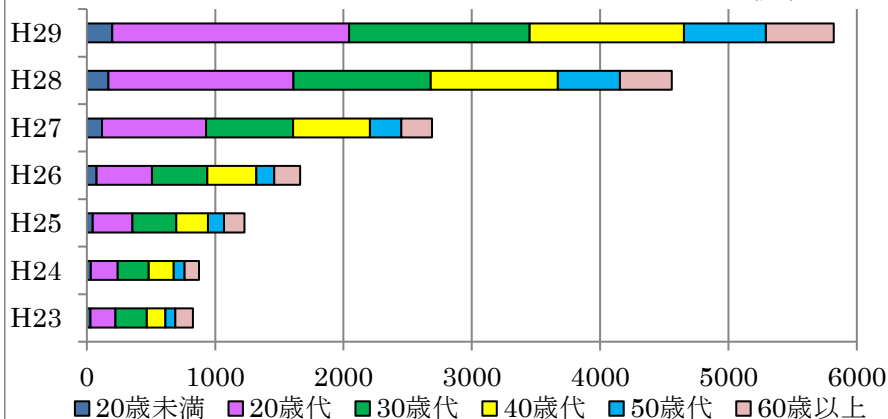
梅毒の報告数年次推移 (全国) (人)



梅毒の報告数の年次推移 (兵庫県) (人)



梅毒報告の年齢状況 (全国) (人)



## 妊婦の感染報告も・・・

妊婦が梅毒に感染すると流産や死産の原因となったり、先天梅毒の赤ちゃんが産まれるリスクがあるため、特に注意が必要です。

**梅毒は、全国的に増加が顕著！若い世代が特に増加！**

### 【予防について】

- ◆性交渉の相手が増えれば感染する危険も高まります。
  - ◆感染を予防するためには、パートナーとよく話し合い、お互いを守るために**正しくコンドームを使いましょう。**
- ただし、コンドームを使用しても100%予防できると過信せず、皮膚や粘膜に異常があった場合は性的な接触を控えましょう



- ◆感染の有無を確認するには、**血液検査を受けることが必要です。**
- 症状があるなど心配な場合は、医療機関(男性：泌尿器科 女性：産婦人科)を受診しましょう。**

症状等については厚生労働省ホームページ「梅毒に関するQ&A」をご覧ください